

平成30年第4回燕市議会定例会

一般質問日程表

質 問 日		質 問 者			質 問 方 式	
					一 括 質 問	一 問 一 答
12月11日(火)	午前	1	大原 伊一 議員		○	
	午後	2	堀 勝重 議員		○	
		3	土田 昇 議員		○	
		4	樋浦 恵美 議員		○	
		5	齋藤 信行 議員	○		
12日(水)	午前	6	柳川 隆 議員		○	
		7	渡邊 広宣 議員		○	
	午後	8	柴山 唯 議員		○	
		9	埴 豊 議員		○	
		10	岡山 秀義 議員		○	
13日(木)	午前	11	山崎 雅男 議員		○	
		12	タナカ・キン 議員		○	
	午後	13	小林 由明 議員		○	
		14	田澤 信行 議員		○	
		15	長井由喜雄 議員		○	
14日(金)	午前	16	大岩 勉 議員		○	
		17	宮路 敏裕 議員		○	

平成30年第4回燕市議会定例会「一般質問表」

発言の 順序	発言 する 議員	質問項目 (大項目)	質問要旨 (中項目)	具 体 的 な 内 容 (小 項 目)
1	大原 伊一 (一問一 答方式)	1. 国道 289 号バイパス について	(1)朝日大橋の 開通が目前と なり国道 289 号の今後のバ イパスについ て	①燕市内における国道 289 号の朝日大橋の開通が目前に 迫り、バイパス計画の説明会が関係地元住民に対して 行われたと聞いたが説明会の内容について伺う。 ②住宅に掛かる部分については、4車線の規格で用地買 収を求めている地元の要望についての対応はどのよう に進めるのか伺う。
		2. 公共施設 の利用者負 担金につい て	(2)国道 289 号 バイパスと労 災病院跡地問 題について	①バイパスが進捗していくと労災病院跡地は、高速道路 インター・新幹線駅からも直結し立地条件として今ま でとは、全く評価が変わるものと思われるが、県との 協議にどのように取り組んでいかれるのか伺う。 ②県との協議の進展がない場合は更地にして返していただ き、県保有の土地についても無償譲渡を求めている、住宅 や企業向け団地化を進めても良いと考えるがいかがか。
			(1)社会教育施 設維持管理費 と使用料につ いて	①社会教育施設の義務教育中の子供達を除く利用者 1 人 当たりの施設維持費の額はいくらか伺う。 ②社会教育施設の義務教育中の子供達を除く利用者 1 人 当たりの光熱費はいくらか伺う。 ③社会教育施設の義務教育中の子供達を除く利用者 1 人 当たりの受益者負担金はいくらか伺う。
			(2)公共施設の 適正配置との 関連性につい て	①市議選中に市民との対話の中で、「適正配置により自分 の地域の施設が統廃合の対象になるなら、利用者負担 が増えても維持できる方策を示していただきたい」と の意見もある。市としてこのような意見をどう捉える のか伺う。 ②また、講座の負担額が上がると参加者が減ると危惧す る指導者もいるようだが、それであれば施設を訪れる 市民に対して「この施設の維持管理費は、この額で利 用者から頂いている金額は、この額」と表示して、こ のままでは施設の維持管理ができず統廃合の対象とな る。訪れる皆さんにカンパをお願いする募金箱を置いて みるのはいかがか。 ③何の努力もせずに市民に危機的状況を伝えることも無 く、ただ適正配置だけの議論をしたのであれば、市民 から批判が出るのは当然理の結果でないのか。「受益者 負担を上げると利用者が減る」という単純な理由だけ で施設の維持管理の実態を市が市民に伝えなかった無 責任をどのように説明するのか。
		3. 農政問題 について	(1)来年度予算 編成に向けた 考え方につい て	①チャレンジ・ファーマー支援事業や環境保全型農業取 組支援補助金、水稻業務用多収性品種作付推進補助金 など、本市が特徴を持つ事業について継続するのか伺 う。 ②来年度の作付けに向けて弁当や食堂に利用される中食用 米の作付けを伸ばす必要性が喫緊の課題であると思 うが、加工米や餌米などを含めた作付面積をどのよう に考えているのか前年度との比較で示していただきたい。
			(2)園芸農産物 の拡大が大き な課題と考 えるが対策は あるのか	①米単作で生計が成り立つ時代は、終えんを迎えようと しているのでないか、園芸作物を導入して、所得向上 を目指す時期に来ているのでないか、新たな対策が必 要と考えるがいかがか伺う。

発言の順序	発言する議員	質問項目(大項目)	質問要旨(中項目)	具体的な内容(小項目)
2	堀 勝重 (一問一答方式)	1. 地場産業の充実について	(1)官民協働による企業用地の確保について	<p>最近、企業の方々から「会社を増築したいが用地取得が難しく困っている」といった内容のことをよく言われます。現在、物流センター等では虫食いになっている農地が点在している状況であります。一企業と不動産会社で用地を確保することはなかなか難しいとのことでもあります。</p> <p>① 市が主体となり点在している農地を確保し、整地した後企業の方へ用地の提供をする等の取り組みを行うことで社屋の増設や新設が図られ、地場産業の更なる発展につながっていくものと思いますが、いかがか伺います。</p>
		2. 行財政運営について	(1)自主財源確保のための取組み等について	<p>総務省統計局による調べでは、2018年9月1日現在の我が国の人口は、1億2,642万人、2030年では1億1,522万人と、急激な人口減少の推移が予測されております。同様に当市の2018年10月末現在の人口は、7万9千932人でありました。社人研による推計では、2030年には70,063人と、ほぼ1万人減少すると言われております。今後、人口減少のあおりを受け、国県からの交付金や補助金等の特定財源が削減され、従来の依存財源に頼った財政運営が厳しくなることが予測されることから、自主財源確保が必要不可欠と考えています。</p> <p>①過去3年間の一般会計における自主財源比率について伺う。</p> <p>②2030年には7万人に減少すると推計されている。1万人減少した場合、ふるさと納税寄附金を除き、一般会計の歳入はどのくらい減収になると推測されるのか、伺います。</p> <p>③人口減少は全国的な問題であり、国県からの交付金や補助金等の依存財源は、平成30年度の額を基準にした場合、一般会計での12年後はどのようになると見込まれているのか伺います。</p> <p>④自主財源を確保するためには先を見据え、限られた財源を有効に活用し、より慎重な行財政運営を確実に行わなければならない時代に入ったと思っています。既に概ね目的達成した政策や事業などは、臆さずに確実にスクラップし、類似しているものは統合等するなどし、これからどうしても充実を図っていかねばならないものにはしっかりと財源を充当していくべきでないかと思っております。このことについて、市はどのように捉え、また、どのように考えておられるのか伺います。</p> <p>⑤大項目1と連動しますが、企業用地の確保を市が主体となって進めることにより、企業の用地確保が容易になり、事業拡大や増築等が図られ、活性化することで増税につながっていくものと思いますが、考えを伺います。</p> <p>⑥市が考えている自主財源確保のための対策等について伺います。</p> <p style="text-align: right;">(次ページへ続く)</p>

発言の順序	発 言 する 議員	質問項目 (大項目)	質問要旨 (中項目)	具 体 的 な 内 容 (小項目)
2	堀 勝重 (一問一答方式)	3. 子育て支援について	(1)子どもの医療費助成事業の拡充について  (2)未満児保育の充実について	<p>改選前の9月議会的一般質問において、子ども医療費助成制度について、「現在の対象である中学校卒業までを、充実した子育て環境を考えるならば、18歳高校卒業までの医療費助成の拡充を実施すべき」と質問をいたしました。答弁では「財源確保等も考えながら来年度4月早々にスタートできるよう検討してまいりたい」とのことでありました。</p> <p>①これから新年度当初予算編成に入られる訳ですが、高校卒業までの拡充について財源確保も含め、4月からスタートできる目途はたったのか伺います。</p> <p>①第1次の燕市幼稚園・保育園適正配置計画の計画期間(平成23～平成29の7年間)が終了しましたが、その計画実施後の成果と課題等について伺います。</p> <p>②11月から子育て総合支援センター「すくすく」において、一時保育(生後6ヶ月～2歳児まで)を開始されておりますが、そのねらいとこれまでの受け入れ状況について伺います。</p> <p>③昨今、子どもが減少してきている中、就業形態の多様化や育児休暇後に職場復帰したいといった保護者が増えているように受け止めております。本市の子育て支援を更に充実させるため、未満児保育を拡充していくべきと思いますが考えを伺います。</p>
3	土田 昇 (一問一答方式)	1. 市役所庁舎、免震、制振オイルダンパーの不正について	(1)取り換え工事の見通しについて	<p>①報道で、免震装置の検査データの改ざんが、防災の拠点となる官公庁舎にも及んでいたと公表されました。油圧機器大手「KYB」は問題の免震装置を使っている施設名を一部公表しましたが、残念ながら私たちの市役所も国の基準に合わない「不適合」と報道されましたが、用地管財課が提出した速報(10月17日)によれば16基全ての免震オイルダンパーについて、検査データが書き換えられ、大臣認定等に適合していない疑いがあるとしているが、新聞報道(朝日新聞10月20日)では、市庁舎16本のうち9本が不適合で「市民の不安を一刻も早く解消できるように」求めるとしていますが、事実どうなっているか伺うと同時に詳しい経過説明も求めます。</p> <p>②KYBは免震、制振ダンパーの交換については、2020年9月までかかるとしていますが、専門家の中には1本あたり数時間で可能、建物1棟でも数日から1週間で完了するとの見方が一方であります。今後交換の日程等々も含めてどのように対応していくのか伺います。</p> <p>③用地管財課の速報のとおり、市役所庁舎の設計業者、施工業者に対して詳しい説明を求めていくべきと考え、新たな情報が把握され次第報告するとしているが、報道された以後どのような状況か伺う。</p> <p>④今回の経過についてホームページや広報等々で市民の方々に中間報告として情報提供すべきと思うがその点について伺う。</p> <p style="text-align: right;">(次ページへ続く)</p>

発言の順序	発 言 する 員	質問項目 (大項目)	質問要旨 (中項目)	具 体 的 な 内 容 (小 項 目)
3	土田 昇 (一問一答方式)	2. 農業問題について	(1)平成31年度の生産目標が示されたがその対応について	<p>①本年度から国による生産目標の配分が、農業者自身が自主的に需用に応じたコメの生産を行ってきたが、平成30年度の作況指数はまだ正確に決定していないと思うが、11月16日に平成31年度の新潟のコメ生産目標が市町村に示されました。</p> <p>主食用米が30年度の目標より1千ト、少ない44万9,000ト、非主食用米が30年度の目標を7,000ト上回る13万6,000トで、主食用米については、家庭消費用のコシヒカリは年2%の需用減に見合う縮小を行い、<u>こしいぶき</u>などの業務用米については、<u>外食、食品産業用の需用拡大のため1万2,000トを増やし、もち米酒米等は実需生産の定着によりこれも1万2,000トの減。</u>また、非主食用米では、加工用米、輸出用米の生産拡大に向け目標を引き上げる一方で、飼料用米は地元の需用を踏まえ引き下げと報道されています。</p> <p>非主食用米の備蓄用米、加工米飼料米等々の数値について各農家個々に示していくのか伺う。</p> <p>②新銘柄米の<u>新之助</u>については、種子の要望量や需用などを踏まえて5,000ト引き上げ1万5,000トと示しているが、燕市としての配分はどのようになってくるのか伺う。</p>
		3. ブロック塀対策とエアコン設置について	(1)ブロック塀対策は早期に、エアコン設置は来年の6月までに実現へ	<p>①国の2018年度補正予算9,356億円が11月7日に全会一致で成立しましたが、その中に公立小学校、中学校などのエアコン設置とブロック塀対策の予算「ブロック塀・冷房設備対応臨時特例交付金」985億円を、今年度限りであるが成立いたしました。</p> <p>文科省によると今月の下旬には各自治体に交付の内定を示し12月中旬の交付決定をめざすとしています。その内容については「ブロック塀対策168億円」「エアコン設置817億円」、その対象は先ほどの<u>公立の小中学校の他、義務教育学校、中等教育学校の前期課程、特別支援学校、幼稚園</u>であります。</p> <p>交付金算定割合は1/3となっておりますが、市が予定している金額と今後の見通しについて伺います。</p> <p>②今回のエアコン設置の総事業費が8億3,000万円と承知していますが、すべて地元業者に発注すべきと申し上げてきましたし、早期に対応しなければ夏まで間に合わないと思いますので答弁を求めます。さらに冬休み、春休みを利用して工事を進めるべきと思うが、今後の見通しについて伺います。</p>
4	樋浦 恵美 (一問一答方式)	1. 教育環境の整備について	(1)児童生徒の荷物の軽減について	<p>①本年9月6日、文部科学省は都道府県の教育委員会などに対し、児童生徒の登下校時に持ち運ぶ教科書、教材、学用品の重さや量に配慮するよう促す事務連絡を出しました。児童生徒の荷物の重さについて、どのような認識を持っているのか伺います。</p> <p>②文部科学省からの事務連絡では、家庭学習で使わない教材を学校に置いて帰る「置き勉」など、実際に行われている工夫例を紹介しています。事務連絡を受け、燕市教育委員会として、どのような対応をされたのか伺います。</p>

(次ページへ続く)

発言の順序	発言する員	質問項目(大項目)	質問要旨(中項目)	具体的な内容(小項目)
		2. 公共交通について	(1) 予約制乗合ワゴン車「おでかけきららん号」について	①電話で予約し、自宅や出先から決められた範囲内の希望する目的地まで行くことができる、予約制乗合ワゴン車「おでかけきららん号」は、市民の皆さまから喜ばれ、本年8月10日に累計利用者数が20万人を突破しました。しかしながら、「予約がとれない」「電話がつながりにくい」などの声を聞いていますが、現在の利用状況について伺います。 ②土・日・祝日の運行について、市の考えを伺います。 ③市民の皆さまが利用しやすいよう対策を講じていく必要があると考えますが、今後の対応について伺います。
		3. ヘルプカードの導入について	(1) ヘルプカードの導入について	①本年3月定例議会において、ヘルプカードの導入について質問をさせていただきました。当局からは「今後は燕市障がい者自立支援協議会で、課題をどう解消していくか協議しながら、第5期障がい福祉計画期間中のカード導入を目指してまいります」との答弁がありました。燕市障がい者自立支援協議会での検討状況について伺います。 ②新潟県は年度内にヘルプカードを導入するとの新聞報道がされましたが、市としての対応について伺います。
		4. 燕市公民館の利用申込について	(1) 燕市公民館の利用申込について	①公民館を利用する際の申込については、利用したい日の3カ月前から予約を受け付けています。市民の方から3カ月前ではなく、もう少し前から申し込めないのか、という声を聞いていますが、見直す考えはあるのか伺います。
5	齋藤 信行 (一括質問一括答弁方式)	1. これからの教育行政について	(1) ふるさとへの愛着を育む体験活動について	①昨年度の12月議会で、小学生による国上山での「ボランティアガイド体験」を今年度も継続したいとの回答があったが、今年度の活動の様子について伺います。 ②国上山のボランティアガイド体験は、ふるさとへの愛着を育む上で大変良い体験活動だと思うが、燕市の小中学校で、他にもこのような特色ある体験活動を行っているところがあるか伺います。併せて、教育委員会として、このような体験活動を各学校へ推奨しているのかも伺います。
			(2) 学力向上について	①これまでの学力向上に向けて教育委員会や学校が取り組んできたことに対する成果と課題について伺います。 ②また、その課題を踏まえた学力向上対策についても伺います。
			(3) 冬期通学バス運行について	①冬期通学バスは11月1日～3月22日の期間で運行されているが、11月1日からでは日が暮れるのも早いので、それ以前からの運行ができないものか伺います。
		2. 循環バスについて	(1) 停留所について	①停留所については市民から要望・苦情などあるのか伺います。 ②停留所の移動または新設について伺います。
			(2) 路線について	①今の路線で市民から要望・苦情などあるのか伺います。 ②今後路線の見直しなど考えているのか伺います。 ③休日運行について伺います。 ④他市との乗入はどうか伺います。
		3. デマンド交通について	(1) きららん号について	①利用者の増減について伺います。(午前・午後) ②市民からの要望・苦情などあるのか伺います。

発言の順序	発言する議員	質問項目(大項目)	質問要旨(中項目)	具体的な内容(小項目)
6	柳川 隆 (一問一答方式)	1. 産業振興行政について	(1)「農地転用、県に協力要請」のこと	<p>①県のまとめで、2018年上半期(1～6月)、企業などが県内に(0.1ヘクタール以上)工場用地を取得した件数と面積が分かった。その内、三条・燕圏域が5件、その中で燕市の件数と面積を伺う。</p> <p>②11月9日付の報道では、燕市長は不足する産業用地を確保するため、農地を転用できるような県の協力を求めた。益田副知事は「趣旨を踏まえてしっかり対応したいと応じた」とあるが、今後のスケジュールを伺う。</p> <p>③同日付の別の報道で市長は、「それでも、相当のニーズに対応しきれません。新たに農振を外してもらって、その用途地域を確保していく必要があります。その時に地域未来投資促進法にのっていくと、そのエリアの許認可が比較的弾力化が図られるというので、このエリア指定を目指したい」と述べておられる。どのようにして、いつまでに実現するのか伺う。</p> <p>④同じ紙面の最後の方に、「長いものでは5年以上」にわたって同意が得られない、とあるがその理由について伺う。</p> <p>⑤②で引用した報道機関の16日付の報道には新潟市の市政の課題という特集が組まれており、その中で新市長は「これまでの市政で最も遅れたのは産業政策、特に注目するのが企業誘致で、長岡市などと比較しても停滞している」と指摘。市は、市内8地区で新たな工業用地の開発を目指している。新市長は手続きを加速させて早期に企業団地を創出し、誘致を進めたい考えという記事が載っている。</p> <p>まだ初登庁前の市長でさえこのように述べているのに対し、かたや三期9年目でやっと県に陳情に行く、この違いをどう思っているのか伺う。</p>
		2. 都市整備行政について	(1)都市公園と児童遊園の遊具のこと	<p>①今年度の計画として、都市公園、児童遊園の遊具撤去予定数と遊具再設置予定数に対して、それぞれの直近の実績を伺う。</p> <p>②予算概要には遊具の定期点検が法令化されるためとあるが、この法律はいつから施行されるのか伺う。</p> <p>③また、国家資格を有する専門技術者による点検を実施しますと記されているが、その実態と費用について伺う。</p> <p>④児童遊園のことについて、予算概要には児童遊園及び地域管理公園における統廃合の対象となった公園、という記述について地域管理公園とは何か、および、統廃合の基準と実態について伺う。</p> <p>⑤撤去と再設置は計画的に実施されている中で、それらについての地元自治会への周知はどのようになされているのか伺う。</p>

発言の順序	発言する議員	質問項目(大項目)	質問要旨(中項目)	具体的な内容(小項目)
7	渡邊 広宣 (一問一答方式)	1. 産業政策について	(1) 企業の現況について	①労働力の充足率(人手不足)について ②学卒者(新卒者)の内定状況について ③業種別景況感と認識について ④改正入管難民法が燕市に与える影響について
			(2) 産業の振興について	①振興を図る上での課題と問題点について ②燕市を牽引している企業の支援策について
		2. 子どもの貧困対策について	(1) 子どもの貧困対策について	①子どもの貧困対策検討会議の設置と開議状況について ②貧困対策の基本方針について ③具体的施策の展開について
		3. 行政サービスの所得制限について	(1) 行政サービスの所得制限について	①将来的に行政サービス需要の拡大が予想される中、持続可能な行政サービス提供のためにサービスを受ける所得制限の検討について
8	柴山 唯 (一問一答方式)	1. 人材不足問題について	(1) 外国人就労について	①現在の燕市における外国人登録者数と、そのうち市内企業へ技能実習として在留している外国人数を伺う。 ②今年6月に政府が示した「経済財政運営と改革の基本方針2018」の中で、少子高齢化の克服による持続的な成長経路の実現のため、あらたな外国人材の受け入れを謳っているが、これについて市はどのような対応を考えているのか。
			(2) 女性の仕事との両立について	①燕市でも女性が活躍しやすい環境づくりとしてさまざまな取り組みを実施されてきたが、これまで以上に人材不足が叫ばれる中、女性が妊娠や不妊治療で仕事との両立が困難になり、離職せざるを得ない状況になることがある。貴重な人材を失うことにならないような企業の取り組みが必要と思うが、市の考えを伺う。
		2. 少子化対策について	(1) 少子化対策について	①燕市は「不妊検査」を一般不妊治療費助成事業に含み、助成している。「不妊検査」とは女性だけでなく男性も受けるもので、治療が必要か判断するための検査であり、夫婦が子作りに関して考えるきっかけになる。また、子どもを望む夫婦に対して早めの不妊検査を促すことで早期の不妊治療の受診につながり、費用の負担軽減にもつながる。 そこで治療費助成事業と検査費助成事業を分けて実施することで、今以上に多くの夫婦が早期に妊活に取り組みやすいようにすべきと考えるが、市の考えを伺う。 ②燕市では不妊治療に関心のある方向けに講演会などを開き、積極的に働きかけをしているが、人口減少を食い止めるためには若い世代へ加齢による妊娠率の低下や、出産のリスクなどの正しい知識の普及啓発を今以上に行わなければならない。不妊を認識していない若い夫婦にも参加の枠を広げて、夫婦の将来の家族設計を考えていくためのセミナーも開催していくべきと考えるが、いかがか。



発言の順序	発言する議員	質問項目(大項目)	質問要旨(中項目)	具体的な内容(小項目)
9	埴 豊 (一問一答方式)	1. 燕市の財政課題について	(1) 来年度後半に予定されている消費税増税について	① 来年度予算における消費税増税の影響について
			(2) 地価下落による固定資産税の動向推移について	① 過去5年間の推移と今後の見通しについて ② 相続放棄の現状と今後の見通しについて
			(3) 少子高齢化の影響について	① 高齢者対策費の状況について ② 少子化対策の状況について
			(4) 公共施設の維持管理の方向性について	① 公共施設の維持管理の方向性について
		2. 燕駅前駐輪場について	(1) 現状認識について	① 燕駅前駐輪場はいつ頃いくらの費用でどのような主旨で作られたのか。 ② 歩行者の迷惑になっている状況はないのか。 ③ 近隣住民からの苦情にどのように対処したのか。 ④ 今後の対応について
		3. いじめ問題について	(1) 頻発するいじめ問題について	① なぜ学校で状況把握に時間がかかるのか。 ② 教職員のスキルアップの方法について ③ その後の学校での対応について
		10	岡山 秀義 (一問一答方式)	1. 学童保育の現状と課題について
(2) 学童保育指導員について	① 放課後児童クラブにおいて、学童保育指導員は児童の健康面・精神面・遊びへの活動意欲や態度の形成を図りながら子どもが安心して放課後を過ごせるようサポートする大切な役割を持っています。 本市各児童クラブにおいて学童保育指導員はしっかりと確保できているのか伺います。 ② 共働き家庭における「小1の壁」・「子どもと指導員の関係」に対応するためには学童保育指導員の育成は必要不可欠であると考えます。指導員講習会など今までと今後の取り組みについて伺います。 ③ 本市放課後児童クラブで起きたケガなどの事例と、これからの取り組み、責任問題について伺います。			
(3) 市としての取り組み	① これまでを総括して市としてこれからどのように学童保育と向き合っていくか伺います。			
2. 高齢者対策について	(1) 食料品アクセス問題について			① 少子高齢化・跡継ぎ不足問題・地元商店街などの衰退に伴い、移動困難者・買い物困難者が急増しています。これまでの対応を伺います。 ② 燕市循環バス「スワロー号」弥彦・燕広域循環バス「やひこ号」の利用状況を伺います。 ③ 食料品アクセス問題は高齢者にとって死活問題であります。これからの市としての対策について伺います。

発言の順序	発 言 する 員	質問項目 (大項目)	質問要旨 (中項目)	具 体 的 な 内 容 (小 項 目)
11	山崎 雅男 (一問一答方式)	1. 空き家・空き地の現状と取り組み、課題について	(1) 空き家対策について	<p>① 空き家・空き地に対して所有者等、遠近問わず日常的に維持管理の難しさや、所有者等を特定できない空き家・空き地の空き家件数、空き家率と特定空き家に該当する件数の現状と課題について伺う。</p> <p>② 危険空き家の増加は地域住民にとってさまざまな生活環境を悪化させるが、管理不全空き家数と対応や人口減少を食い止めるための空き家活用（農業・福祉・教育等）に対しての見解を伺う。</p> <p>③ 空き家というと管理不全や倒壊寸前等、非常に危険な状態で周辺に迷惑をかけるようなイメージとして考えるが、決してすべてではない。まちなか居住促進に結び付くところは、おおいに空き家を生かした魅力あるまちづくりにつなげていくことも視野に入れ、所有者との交渉、取り組むべきかと思うが実態と見解を伺う。</p> <p>④ 空き家実態調査及び、意向調査結果に基づき対策に取り組まれていることと思うが、発生抑制・適正管理・空き家跡地の活用等の促進や特定空き家等への対応を市として空き家対策を進める上での課題について伺う。</p> <p>⑤ 空き家に関する改修費助成事業の活用促進として、燕市住宅リフォーム助成事業及び燕市空き家・空き地活用バンク事業活用の面から有効な方法であるが、事業取り組み状況について伺う。</p>
		2. 県道燕分水線の安全対策と、未整備区間の整備について	(1) 産業道路化した野本・田中地区を通る県道燕分水線	<p>① 県道燕分水線、平成9年度に事業化された田中地区においては、平成17年度末暫定2車線供用開始し両側道も平成18年度完成。</p> <p>地域住民や歩行者の視点からの道路整備や、交通安全対策は依然として十分とは言えず、通学路における歩道整備、生活道路における通過交通規制、歩車共存道路等、人優先の安全・安心で快適な歩行空間の整備を促進すべきかと思うが認識と見解を伺う。</p> <p>② 野本・田中地区を分断して東西通過する県道燕分水線。周辺に吉田金属工業団地・小池工業団地・物流センター・メッキ団地等々工業団地が多く、朝夕の交通ラッシュや日中県内外の車両が一定速度で通過する産業道路化した道路。</p> <p>供用開始後の交通事故死や直近での地元住民犠牲等、毎年のように人身・物損事故が発生しており、以前にも増して地元からは信号機設置を願っているが、以前からの要望と認識、動向について伺う。</p> <p>③ 幹線道路については、本市の将来都市構造の実現に寄与する路線かどうかという観点から評価し、生活道路については、道路の現況、交通、周辺の状況等を勘案し、緊急性、必要性が高い路線かどうかという観点から評価するものと思われるが、県道燕分水線野本地区未着手の整備路線に対しての認識と地元地区に拡幅に関する説明会を開催したが、経緯と具体的内容、今後の取り組み進め方について伺う。</p>

(次ページへ続く)

発言の順序	発言する議員	質問項目(大項目)	質問要旨(中項目)	具体的な内容(小項目)
11	山崎 雅男 (一問一答方式)	3. 発達障がい児・者の成長段階や生活環境に応じた発達障がいの支援策について	(1) 発達障がい児・者の実態と支援状況について	<p>① 自閉症・広汎性発達障がい・学習障がい・注意欠陥多動性障がい、その他これに類する脳障がい等の発達障がい児・者の現状認識を伺う。</p> <p>② 発達障がいにはさまざまな症状があり、多様化している中で市として発達障がい児・者の方に対して、どのような対応を行い、社会に適応できるように療育するのか伺う。</p> <p>③ 発達障がい児・者の幼児期、学童・成年期、老齢期へと生涯にわたり、安全に安心して暮らせる社会の仕組みづくりを考える取り組みはどのようなか伺う。</p>
12	タナカ・キン (一問一答方式)	1. 園児の使用済み紙おむつについて	(1) 園児の使用済み紙おむつについて	<p>① 市内の公立保育園では、園児の使用済み紙おむつを保護者が持ち帰ると聞いて驚いている。保護者に手渡すまでは園内で管理しているわけだが、衛生面等で大丈夫なのか、保管状況について伺う。</p> <p>② 私立保育園ではどうか伺う。</p>
		2. 燕市立図書館について	(1) 燕市立図書館利用について	<p>① 燕市立図書館の改修工事に伴い、11月1日から来年3月中旬までの期間で、代替の図書館を燕市中央公民館会1階に開設している。利用者の反応について伺う。</p> <p>② 改修工事は、空調設備とトイレの洋式化などで、事業費は約1億2400万円である。図書館の年間の入館者数は平成29年度で燕図書館の74,258人に対し、吉田図書館は129,737人である。地区の人口が燕地区42,364人に対して、吉田地区23,939人で人口1人当たりの利用率で見れば、燕図書館約1.75に対して吉田図書館は約5.42と大きな差がついている。この数字にどういう感想をお持ちか伺う。</p> <p>③ 改修工事により入館者数の増加は見込められると考えているか伺う。</p>
		3. 燕市美術展覧会について	(1) 燕市美術展覧会について	<p>① 平成18年度の第1回展から平成30年度の第13回展までの応募者数の推移を見ると、合計人数で第1回展が242人、第2回展が215人、第3回展は190人と年々減っていき、第13回展は115人と第1回展の半分以下になっている。応募者数が大きく減少傾向であるが、この理由について、どうとらえているか伺う。</p> <p>② 洋画部門19人のように20人をきっている部門もある。また、工芸・彫刻部門は20人であった。賞の1つ、新潟日報美術振興賞は20人を下まわると出してもらえないと聞いたが伺う。</p> <p>③ 主催者の燕市・燕市教育委員会として、これまでに応募者数を増やす取り組みについて検討・実行してきたか伺う。</p>
		4. 選挙管理委員会の仕事について	(1) ポスター掲示場所について	<p>① 候補者に渡されるポスター設置箇所を示す地図が古いが、分水地区・吉田地区・燕地区とそれぞれ何年前の住宅地図を使用しているか伺う。</p> <p>② ポスター掲示場所は、何を基準にして決められているか伺う。</p> <p>③ ポスター掲示場所は、安全性も含めてこれまで見直しされてきているか伺う。</p>

(次ページへ続く)

発言の順序	発言者	質問項目(大項目)	質問要旨(中項目)	具体的な内容(小項目)
12	タナカ・キン (一問一答方式)	4. 選挙管理委員会の仕事について	(2) 選挙運動の制限について	①選挙期間中は、どこの陣営もピリピリしている。候補者等の活動について、市民からおかしいのではと通報もかなりあったと思うが、内容について具体的に伺う。 ②選挙管理委員会から配布された「候補者のしおり」の中に文書図画による選挙運動の制限があるが、脱法文書の禁止について伺う。
13	小林由明 (一問一答方式)	1. 都市計画関連事業について	(1) 都市計画道路の現状について	①廃止および検討の方向が示されている都市計画道路の現在の進捗状況を伺いたい。 ②今後の不動産利活用や生活設計を考えるためにも、廃止するなら廃止、継続ならその時期はいつまでなのかといったように、市民が今後の見通しを立てられる環境を速やかに構築すべきではないか。
			(2) 移住定住促進関連の事業について	①これまでの取り組みを踏まえ、来年度はどのような工夫、改善を考えているか。 ②改善していただきたいものの一つとして、移住家族支援事業の補助要件に「申請年度の4月1日以降に燕市に転入届を提出して市外から本市に移り住み定住する方。ただし、認定申請を行う日において6ヶ月以上市外に居住していた方」というものがある。市外から転入しアパートなどですでに燕市にお住まいの方の中にも、燕市で住居を購入・建築するなどし、燕市で生活していくことを検討する方がいるというのは一般的なことである。燕市に転入して数年間は定住の検討期間、準備期間という考えのもと、現在の市外の方が利用できる制度から、転入して数年間は使える制度へと補助要件の見直しを行い、燕市定住の後押しとなる、より現実に即した効果的な事業へと改善してはどうか。
		2. 防災減災対策について	(1) 防災行政無線の運用について	①防災行政無線で放送する情報については、それによってもたらさんとする効果を高めるためにも、市民の生命財産に影響を及ぼす比較的緊急度重要度の高いものに限定し、それ以外の情報については他の情報発信手段を用いるべきではないか。 ②防災行政無線が「聞こえない」、「聞き取れない」という市民の声は後を絶たない。子局から遠い距離にいるときや屋内にいるとき、風雨の日や耳の聞こえにくい方には特に、防災行政無線による音声での情報取得は困難であると考えている。防災行政無線は、緊急情報を発する手段、取得する手段としては不完全なものであることを市民の皆さんに理解していただき、他の手段を用いて情報取得を行うよう、啓発を強化すべきではないか。
14	田澤信行 (一問一答方式)	1. 高齢化社会におけるインフラの整備について	(1) 燕市としての具体的なインフラ対策について	①燕市としての中・長期における具体的なインフラ整備に関する計画があるのか伺う。 ②吉田駅構内のエレベーターやエスカレーターの設置についての働きかけはしているのか。また、その具体的な回答はあるのか伺う。  (次ページへ続く)

発言の順序	発言者	質問項目 (大項目)	質問要旨 (中項目)	具体的な内容 (小項目)
14	田澤 信行 (一問一答方式)	1. 高齢化社会におけるインフラの整備について	(2) スワロー号、きららん号の利用度のデータ分析について	① 過去からスワロー号やきららん号に関する要望があるようだが、その対応についてはどのように取り組んでいるのか伺う。 ② 利用度のデータ分析をどのように行い、どのような改善に繋げているのか伺う。
			(3) 庁舎の受付窓口について	① 高齢者が利用しそうな窓口(長寿福祉課など)が入り口から遠方にあり、歩行距離そのものが高齢者の負担になっていないか。改善の必要性はないのか伺う。 例えば、1番窓口からデジタルアナウンス、または、内線電話を設置することで該当窓口に来庁者を認識させ、担当職員自ら来庁者が待機する場所まで行くように出来ないか。
15	長井 由喜雄 (一問一答方式)	1. 小池中学校校区での保育環境整備について	(1) 小池中学校区内にある小池、大曲八王寺、水道町保育園のいずれかで0歳児保育の実施を	① 小池中学校校区内には公立3園があるが、いずれも0歳児保育が実施されておらず、市内全体の保育環境から見ても大きくバランスを欠いている。早期に3園のいずれかで産休明けからの保育実施を求める。
			(2) 水道町保育園の環境整備について	① 水道町保育園の外壁は塗装がほとんど剥がれ落ち、コンクリートむき出しで保育施設と思えないような状態となっている。早急に外壁の塗装をはじめ床暖房など、必要な修繕をすべきではないか。
		2. 放課後児童クラブの保育環境について	(1) 放課後児童クラブの運営基準について	① 全国知事会や全国市長会などが、放課後児童健全育成事業の設備および運営にかかる「基準」について、「従うべき基準」を「廃止または参酌すべき基準」へ見直し、指導員配置の規制緩和を求めているが、「従うべき基準」は堅持すべきではないか、考えを伺う。
			(2) 夏休み中の保育環境について	① 市内の児童クラブにおける冷房設備の設置状況と実際の保育環境について伺う。
		3. 子どものインフルエンザ接種補助を中学生までに拡大を	(1) 接種補助対象を中学生までに	① 高校受験を控える中学生にも補助対象を拡大し経済的負担軽減を。
		4. 胃がんリスク検診の対象を中学生まで拡大することについて	(1) 胃がんリスク検診の効果と中学生も対象に加えることについて	① ピロリ菌の除去による胃がんリスクの軽減効果について伺うとともに、対象に中学生を加え早期にリスク回避策を講じてはいかかが伺う。
		5. 口腔衛生先進市を念頭に歯科保健条例制定を	(1) 歯科保健条例の制定について	① 市は歯科保健計画を定めているが、口腔の衛生を保つことは将来的な健康維持に大きな効果をもたらすことにつながるのではないかと考えている。歯の健康を維持し健康寿命を伸ばすことを念頭に幼児期から定期歯科健診を受ける環境を整えるため、歯科保健条例の制定を提起したい。

発言の順序	発言する議員	質問項目(大項目)	質問要旨(中項目)	具体的な内容(小項目)
16	大岩勉 (一問一答方式)	1. 市長の政治姿勢について	(1) 新燕市議会に期待し求めるものについて	①新燕市議会に市長として期待し、求めるものについて市長に伺う。 ②新人議員の選挙戦をどのように感じられたか伺う。
		2. 市議会選挙と選挙管理委員会の対応について	(1) 選挙管理委員長の職務と権限について	①開票作業は効率的に執行されたのか、開票立会人に対して委員長は毅然とした態度をとることなく、判断力に欠けたのではないかと伺う。 ②候補者ポスターの掲示場所の設置後、状況を選挙管理委員会は確認されているのか伺う。(＊西燕保育園東側フェンス設置は。) ③委員長自身は市議会選挙の厳しさと、委員長自身の職務と権限を自覚されているのか伺う。
			(2) 後援会活動と選挙運動の異常さについて	①大量の文書配布運動が行われたが、予定候補者が有料で新聞配達員を利用し、告示寸前の事前文書配布は認められているのか伺う。 ②予定候補者自身の名前と、顔写真入りのノボリ旗を掲げての事前街頭活動は認められているのか、選挙事務所での屋外掲示できる看板類の数量を伺う。 ③名前・顔写真入りの街宣車と掲載されている車上看板を投票所に向かう道路前に見えるように、投票日当日駐車してもよいのか伺う。 ④一般財団法人・燕市スポーツ協会の会長が燕市市議会選挙運動に積極的に関与されても差し支えないものか、教育委員会・社会教育課は承知の上なのか伺う ⑤燕市体育施設 25 施設、240,599,000 円で指定管理業務を請け負っている代表理事が、市議会議員選挙運動に積極的に関与されているが、燕市入札規定及び請負基準に抵触するのではないかと伺う。
		1. 市民の暮らしと地域経済について	(1) 消費税増税の影響について	①政府は消費税について、これまで2回税率引き上げを延期したが、10月15日の臨時閣議で来年10月から10%増税を実施すると首相が表明した。増税による市民生活や地域経済への影響について認識を伺う。 ②全国市長会の税財政に関する研究会は提言を出し、「安定的な税収である地方消費税の役割は大きい」と指摘し、10%増税の確実な実施を求めているが、この指摘について認識を伺う。
17	宮路敏裕 (一問一答方式)	1. 市民の暮らしと地域経済について	(2) 住宅リフォーム助成事業について	①景気対策として予算の10数倍の経済波及効果の実績がある、住宅リフォーム助成事業について、消費税増税による景気悪化を鑑みれば、事業の拡充を考えるべきではないのか認識を伺う。
			2. 地域の公民館のあり方について	(1) 利用者本意の利便性について
		3. 燕労災病院の跡地利用について	(1) 市民の声をどう生かすかについて	①9月議会では跡地利用について市長は、市民の気持ちとして隣接する高齢者施設と良い影響を及ぼすような施設を望む人が多いことを把握している、との認識を示された。その上で、外来の診療所を望む声があるが、今後の県との協議にあたり、市民の声を生かすことについて認識を伺う。
		4. 災害から市民を守る防災について	(1) 消防力の整備について	①消防庁告示にある「消防力の整備指針」に基づき、適切な消防体制を整備することとなっているが、本市の整備計画と充足状況について伺う。